

行政区懇談会

4月22日から6月9日の期間に、20行政区ごとの行政区懇談会が開かれています。村の復興計画(案)や除染、賠償などについての説明があり、各避難先から会場に足を運んだ村民が意見を述べて話し合いを行っています。その質疑応答の一部を掲載します。

復興計画

時期や条件の宣言、復興計画への確認、要望などが、真剣に語られました。

Q 復興計画の中に、花き栽培があります。誰がやるのですか。

A (村) モデル除染をした所に作付けた結果、放射線量はND(検出下限値未満)でした。ただし、作付けはできても作物が売れるかどうかは不明であり、国には帰村してからの生活保障制度も要望しています。そこで食べ物より消費者に受け入れられやすい可能性がある花き栽培を事業

Q 案の一つに挙げています。誰がやるかは、今後検討していきます。

Q 村民アンケートでは、20〜30代は「戻らない」と決めている人が多いようですが、将来の高齢化を予想しての復興計画になっていますか。この計画のまま村が機能するのでしょうか。

A (村) 戻らない人もできるだけ村の近くにいってもらうことが必要と考えて事業計画を立てています。内容的にはまだまだ足りないのですが、意見をもらいながらやっていきます。これまでは違う発展の仕方も考えられると思うので、まずは村内の拠点作りをして、復興が目に見えるようになっていきたいと思います。

Q 帰村宣言の要件となる線量を決



5月15日 草野行政区懇談会

除染

当初の発表や、説明会との相違について、説明を求める声が相次ぎました。

Q 将来的に年間1ミリシーベルトを目指していきますが、まずは今回の除染による低減で当面年間5ミリシーベルトを目指し、帰村時期は除染後の結果を見て、議会や村民の皆さんと相談して決めたいと考えています。

Q 帰村時期が、早ければ26年秋〜27年春とあります。仮設住宅は入居が延長されますが、借り上げ住宅はどうなりますか。

A (村) 借り上げ住宅も延長されますが、帰村宣言後にどうなるかは今のところ分かりません。村は、帰村宣言後も2〜3年位は家賃の補助をしてもらえないような制度を申し入れていきます。

Q 居久根や森林の除染の範囲が、斜距離になった件が納得できません。水平に測るという説明を受けて同意していると思います。急な斜面を背負う家が多いのです。

A (国) もとより、実証実験の結果も踏まえ、「斜距離」を採用しました。きちんと説明ができていなかったことをお詫びします。居久根は家屋から幹まで10mの範囲で伐採し、生活圏の森林除



4月23日 白石行政区懇談会

Q クリアセンターの仮置き場に、大雨が降った時に廃土が流出しないか心配です。

A (国) 仮置き場の心配については、これからの造成で、流出を確実に防げるような構造にします。

Q 県外避難しています。放射線量の報道の値が低いために、周囲から誤解を受けることがあります。本当の数値を出してほしいです。

A (国) モニタリングポストの代表値が報道されているために、誤解が生じることは申し訳ありません。全国にきちんと伝わるよう、国の責任で対応したいと思えます。

Q 効果が見えるよう、加速しながら除染を行なっていきます。

Q 外に置いてあった物や、除染不能工作物を解体した廃材は、どうなりますか。

A (国) 廃棄物用の仮置き場が整ったからの運び出しになるため、当面敷地内での保管をお願いするようになります。

Q イノシシが入って荒らされた場所の除染はどうなりますか。

A (国) 掘り返されたところは、ローラーをかけ、中まで測定して個別に対応します。

Q 放射性物質は幹にはないのでシイタケの原木は置いてくださいと言われました。シイタケに放射性物質が出るのに原木にないはずはないと思います。竹林についても、タケノコに出ているのに、竹の除染の必要がないというのはおかしいと思います。

A (国) 実証実験等のデータに基づき除染方法を検討してきましたが、不足しているところは早急に勉強します。

Q 川やため池の除染はしないのですか。全て生活と関わっています。

A (国) 川やため池の泥に放射性物質が蓄積していることが分かっています。しかしながら、その除去

Q 居久根を伐採した後は再除染しないと思いますが、どういうことですか。

A (国) 再除染が必要とならないように居久根を伐採し、再除染にかかる費用を上限に補償をするからです。除染後も、事後モニタリングは行い、その後の対応を検討します。

Q 川やため池の除染はしないのですか。全て生活と関わっています。

A (国) 川やため池の泥に放射性物質が蓄積していることが分かっています。しかしながら、その除去

Q 国は今年、1日4300人の作業員を入れて除染を加速すると言っていました。現状は全く違います。どうなっているのでしょうか。

A (国) 仮置き場が確保され、同意が得られれば、1日4300人の作業員で25年度末までに除染が終わる計画を立てました。しかしながら現状では、同意や仮置き場の確保が進まず、居久根伐採にも時間を要しているため、計画通りの作業に至っていません。

Q 始まっている場所も、人数をかけた方がいいように見えませんか。



5月27日 比曾行政区懇談会